

国際展開ウェビナー「オウルヘルス・ラボにおける実証試験」

～ヘルスケア事業の欧州市場展開の入口として～



OuluHealth Labs – a unique test and development environment

OuluHealth Labs provides your product a unique, integrated health test and development environment – including professionals' feedback – for every phase of your R&D process. Our doors are open for innovative pilots that add value to patient care from home to hospital.

神奈川県と北欧フィンランド・オウル市は、MOU（連携・協力の覚書）に基づき、ライフサイエンス分野における連携を進めています。本ウェビナーでは、**フィンランド初の医療・ヘルスケア向け実証ラボ、「オウルヘルス・ラボ」**をご紹介します。開発段階の製品について、大学病院やヘルスケアサービス施設等で実証試験を行い、医療従事者、学生、市民などから直接フィードバックを受けられる仕組みです。**欧州市場でヘルスケア事業の展開を検討する際の事前調査として活用でき、欧州市場進出の契機**となります。日本企業の活用例もご紹介する予定です。ぜひ本ウェビナーをご視聴ください。

参加対象

- 欧州への進出や現地情報の収集に興味をお持ちの医療・ヘルスケア分野の企業や組織

開催概要

- 2020年10月8日（木）16:00～17:00（フィンランド時間10:00～11:00）
※状況により多少、延長の可能性がございます。
- 言語 英語（通訳あり）
- 開催形式 MS Teams（お申込み後、開催の数日前に、リンクをご案内します。）

申込み方法

- 以下のサイトまたは右記の二次元コードからお申込みください（申込みフォームは英語となります）
https://www.lyyti.in/gateway_for_market **リンクがうまく開かない場合は、URLをコピーしてください。
- 定員 200名
- 参加費 無料
- 申込締切 2020年10月7日（水）18:00まで（ただし、定員に達し次第、申込み締切）



【主催・問合せ先】

- 神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 最先端医療産業グループ（担当：佐藤）
E-mail: hcnf.advanced-med@pref.kanagawa.jp TEL: 045-285-0187（平日8:30～17:15）
- ビジネスオウル（フィンランド共和国オウル市産業支援公社）（担当：内田）
E-mail: takako.uchida@businessoulu.com

プログラム

■ 2020年10月8日（木）16:00～17:00 ※状況により多少の延長可能性がございます。

- 16:00～16:05 開催のご挨拶
- 16:05～16:10 北欧フィンランド・オウル市の紹介（ビジネスオウル 内田氏）
- 16:10～16:45 オウルヘルス、オウルヘルスラボについて（ビジネスオウル Komu氏）
- 16:45～16:55 質疑応答
- 16:55～17:00 閉会のご挨拶

スピーカー紹介

- モデレーター/スピーカー
ビジネスオウル 海外コーディネーター（日本担当）
内田貴子 氏

愛知県出身。神奈川大学大学院電気工学科卒業後、モトローラ大阪支社（現・ノキア）で無線通信インフラエンジニア、地域担当プロジェクトマネージャーを兼務。その後、都内仏系外資で営業技術として勤務。2010年オウル大学に留学し、MBA取得。2011年より現職。工学とビジネスの背景を併せ持ち、日本・フィンランドでの豊富な職務経験、幅広い人脈を生かし、アドバイスなどの企業支援を行う。



- スピーカー
ビジネスオウル オウルヘルス・ネットワークディレクター
Minna Komu（ミンナ・コム）氏

フィンランド人。医療・バイオ化学博士、経済・経営修士、ビジネスバックグラウンドを持つ科学者であり、ビジネスの海外展開、新規ビジネス機会の特定と創出、顧客経験に基づいた対応という点に関して、豊富な経験を活かしビジネス展開を駆動させる専門家。フィンランドや米国で名誉ある研究グループでの豊かな職務経験も持つ。



フィンランド・オウル市について

- フィンランド北部の中核都市・オウルは、1958年に設立されたオウル大学とともに発展した、世界トップクラスのICT産業と教育における強固な地盤をもつ地域で、**ヨーロッパのシリコンバレー**と呼ばれています。また、スカンジナビア地域初のサイエンスパークを含む、2つのサイエンスパークを有するなど、教育・研究開発のハブとして、ライフサイエンス分野においてはフィンランドのリーディングタウンになっています。
- 市傘下の産業支援機関である「**ビジネスオウル**」が各種ビジネス支援を提供しているほか、オウルにおける健康とウェルビーイングに関するエコシステムである「**オウルヘルス**」が、オウル市やオウル大学・オウル応用科学大学などの学術機関及び民間企業など産官学の様々なパートナーを繋ぎ合わせる役割を有しています。

ここがすごい！

- ICTインフラ/実証環境等の充実
フィンランドにおけるエレクトロニクス（特に無線通信技術）の研究開発は、50年ほど前よりオウル大学を中心に行われ、VTT（フィンランド技術研究センター）、オウル市、ノキアオウルなどの企業と産学官連携で進めています。近年では5G、またフィンランド旗艦プログラムとして6G研究開発も2018年よりオウル大学主導で始まっています。
- ヘルスケア分野では、オウルヘルスエコシステムの重要プログラムの1つとなる**“Future Hospital 2030”**がオウル大学病院や大学医学部・看護学部、ヘルスケア系企業が集積するサイエンスパーク（メディポリス）で進行中。オウル大学病院が世界一の5Gスマートホスピタルになることを目指してリノベーションを行っています。オウルテストラボの1つ **“OYS TestLab”**は大学病院内にあり、企業の実証実験の場として医療従事者・専門家からのフィードバックを受けることができます。



オウル大学病院ラボ



オウル応用化学大学シムラボ



オウル ウェルフェアラボ